

2018年8月15日

南海電気鉄道株式会社

モントルー・オーベルラン・ベルノワ鉄道との姉妹鉄道協定

◆スイス・MOBでの新たなPR施策

◆スイスのモントルーで記念セレモニー(8/8)



南海電気鉄道株式会社（本社：大阪市、社長：遠北 光彦、以下、南海電鉄）と、スイスのモントルー・オーベルラン・ベルノワ鉄道（本社：モントルー、CEO：ジョージ・オベルソン、以下、MOB）は、両社の友好関係を深め、双方の沿線が国際観光地として発展することなどを目的として、2017年10月24日に「姉妹鉄道協定」を締結し、2018年7月9日からスイスにおいて高野山ラッピング列車を運行するなど、相互にPRを展開しています。

この一環として、MOBの沿線観光地や駅構内などにおいて、新たに姉妹鉄道協定をPRする装飾が実施されています。

また2018年8月8日には、当社社長および鉄道営業本部長などがスイスを訪問し、モントルー駅前において、姉妹鉄道協定の締結を記念するセレモニーに参加しました。当日は、駐日スイス特命全権大使や在スイス日本国大使館領事など多くの来賓にもご参列いただきました。

詳細は別紙のとおりです。



モントルー駅の装飾



セレモニーの様子

MOBなどが運行する人気の観光路線「ゴールデンパスライン」の起点であるモントルー駅の構内などで、協定をPRする装飾が実施されているほか、当社の訪問にあわせ、沿線の観光地「ロッシェ・ド・ネ」の山肌約20,000㎡に高野山の「根本大塔」がペイントされています。

1. 駅での装飾

期 間：2018年8月8日（水）から当分の間 ※終了時期未定



モントルー駅ホームの装飾



グシュタード駅ホームの装飾

2. 「ロッシェ・ド・ネ」山肌の根本大塔のペイント

期 間：2018年8月6日（月）から2週間程度

※牛乳由来の塗料を用いているため、2週間ほどで消えます。



記念セレモニーについて

1. 概要

スイスでの高野山ラッピング列車の運行にあわせ、当社とMOBとの姉妹鉄道協定締結を、MOB沿線の住民やスイスを訪問中の外国人旅客にPRすることを目的として実施されました。セレモニー当日は、100人を超える関係者が集まり、現地のテレビや新聞でも取り上げられるなど、スイスでも大きな注目を集めました。

2. 日時

2018年8月8日(水) 11:00~13:30

3. 場所

スイス モントルー駅前 (MOB本社前)



セレモニーで行われた立食パーティ

4. 出席者

南海電鉄	取締役社長兼CEO	遠北 光彦
	鉄道営業本部長	金森 哲朗
MOB	CEO	ジョージ・オベルソン
	マーケティング担当役員	ハンス・ルーディ・ゲルバー
来賓	駐日スイス特命全権大使	ジャン・フランソワ・パロ閣下
	在スイス日本国大使館	
	在ジュネーブ領事事務所	久保田 一成領事

ほか

5. 次第 ①MOB代表挨拶

②記念品交換

南海電鉄：真田幸村^{かぶと} 冑

MOB：HOMゲージ (鉄道模型)

③来賓挨拶

④南海電鉄代表挨拶

⑤立食パーティ



記念品の交換



当社の記念品(真田幸村冑)と
MOBの記念品(HOMゲージ)

以上